

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和2年10月17日（土）18：25～19：44

場 所：円山地域文化センター

出席者：10人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料1参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料2参照）

・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-1参照）

・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-2参照）

・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料2-3参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町民：栗山赤十字病院がなくならなくて安心した。

町長：国の制度も変わり、いいタイミングで改築事業を行うことができた。経営難などで栗山赤十字病院が撤退するというのが一番厳しいので、改築事業が計画通り進められるようにしていきたい。現時点では現地での建て替えが基本となる。既存の人工透析病棟をうまく活用していきたい。救急の対応にしても国道が近く、現地の利便性は良い。

町民：コスト面では一番いい判断だと思う。近隣でも病院の問題が多く出ている。栗山がこのような判断で進めてくれたのは良かった。

町長：本来であれば、拠点病院を近隣市町と調整していくのが一番いいのだが現実的には難しい。

町民：累積赤字のある病院がきちんと支払うことができるのか。

町長：栗山赤十字病院の単年度収支はバランスが取れている。また、国は、病院再編に力を入れていて、国からの支援もある。病床数を減少することで、国から手厚く支援を受けることができる。そういったものを活用しながら町へ返済をしてもらう。

町長：診療科についてはいろいろ要望がでていますが、医師の確保が難しい。新しい診療科目を作るのは難しい。

町民：整形外科を午後も診察できるようにしてほしい。

町長：町内の個人病院などと連携をとり診察できるようにしているが、今後検討していきたい。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：光回線は、全戸が必ず入るものなのか。

副町長：光回線網が整備される。加入にはNTTとの契約が必要になる。

町長：子どもたちに一人1台パソコンが与えられる学習になる。家庭でも今後インターネットを活用した学習になってくる。光回線契約数を増やしていくことの努力をお願いしたい。

町民：高齢で必要ないところは契約しなくていいということか。

町長：これから、5Gなど高速インターネットが出てくるので、ぜひご協力願いたい。

町長：栗山赤十字病院で新たにPCR検査などができるようになる。日赤病院改築準備室長から詳しく説明する。

日赤改築室長：コロナの検査について、栗山赤十字病院で11月9日から、発熱外来が運用開始になる。電話で予約してからの受診になる。コロナ検査体制も整備される。抗原検査も受けられる。11月号の広報に栗山赤十字病院の情報が掲載される。

町民：かなり昔から問題になっている、角田炭鉱の跡地はどうなったのか。

町長：企業が撤退して、公売入札で町が購入している。今までは所有地の問題でいろいろなトラブルなどの問題もあった。

町民：町の所有となったことで、道路に付いていたゲートなども外されたのか。

町長：もともとロープを張っていたが、施錠をしていたわけではない。不法投棄などの問題についても、見回りをするなどして注意していきたい。

町長：持続化給付金の問題など、今後もコロナに関する多くの支援事業を行っていく。農業に関する支援についても農協などを通じて随時お知らせしていく。また、水道料金についても支援させていただくので、ぜひ申請していただきたい。

町民：多良津橋交差点の事故が多い。信号などを付けてはどうか。

町長：たしかに事故が続いている。警察などと確認して要望していきたい。

町民：地元の人あの交差点が危ないことは知っているが、地方の人は知らないのが本当に危ない。

19：44 終了